

宣 言

ブルジョア國家は、國際的にも國內的にも所謂非常時局に當面し國際的には戰爭の危機に晒され、國內的には、動搖と變革の機運に促進されてゐる。

一切の生産は平時經濟より戰時經濟へと企圖されつつある。

不生産的な軍需品の多量生産その老たな利潤に狂奔するブルジョア階級は、試つて戰爭の危機は拍車を掛けられ、恰も吾人をして歐洲大戦亂を誘發せるドイツ、フランス、イギリスに於ける軍工業資本家を想起せしむるに足るであらう。

かゝる現時に隨伴するインフレーションはその假説の兆候を既に崩しつつ、據つて不況の深刻化、資本家の合理化と労働條件の劣悪化、失業群の拡大、中小商工業者の没落と崩潰を社會階級の窮乏化、争議の激鋭と弾壓策の横行、且つは農村恐慌の深刻化など

資本主義体制の全面的な矛盾動搖は、一層擴大再生産されつつある。

然も危機脱出のための資本の統一的な強力支配は其の政治的縮放たるファシズム的努力を増大し、無産階級の抑壓と政治的自由を極度に封鎖して、未曾有の反動化を形成せるも最早腐朽せる資本主義制度は政治的經濟的に自己の無能を完全に暴露しプロレタリアートの全面的な新興進出を要請されてゐる。

一九三一年以來敗北的狀態に置かれたる隆鬱な階級陣營も今や逆襲的政勢のための闘争力は各地に總ゆる分野に昂揚しつつ戦線の整備と統一は進行する。

斯くの如く展開されたる形勢下に、吾が九州無産階級は現状の低滞と分散から崛起すべく階級力の集結を益々痛感し、茲に戦線統一のため西部嶺山労働組合、東松一般労働組合、東九州労働組合